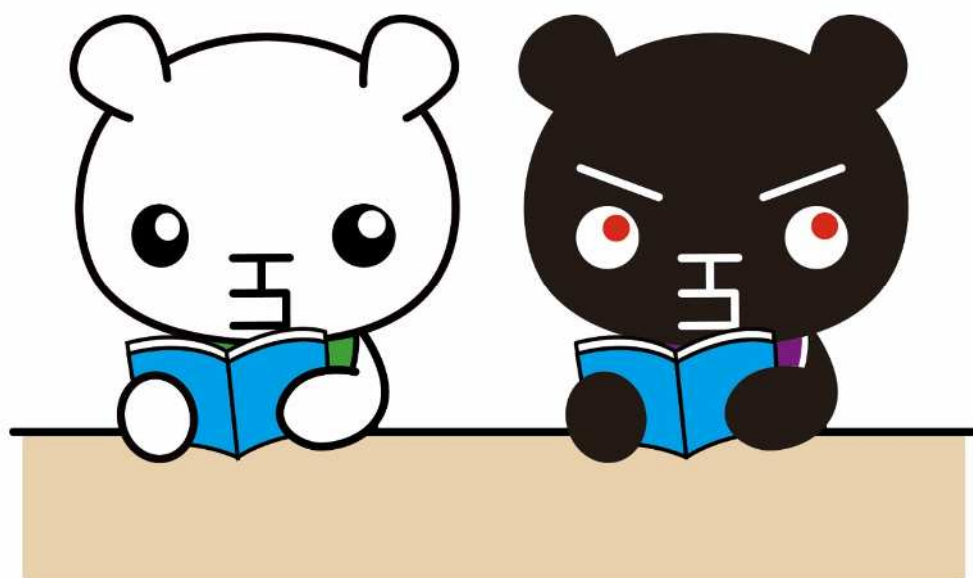


3 学習状況調査 結果・分析



(1) 学習状況調査結果

学習状況調査結果（概況） ※児童生徒質問紙

児童生徒質問紙から、「学びの育ち」と「心の育ち」に関連の深い質問事項を選び、子どもたちの質問に対する回答状況を数値化し、指標としています。

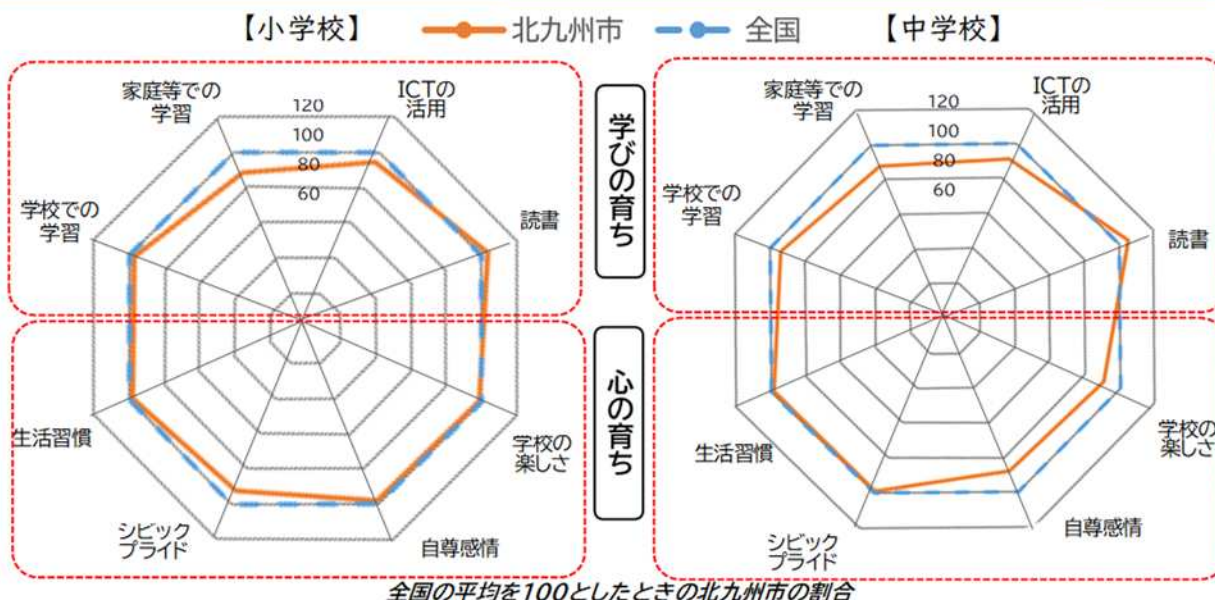
		質問項目
学びの育ち	学校での学習	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか
		授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた
		授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた
		授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた
		学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか
		学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか
		授業で学んだことをほかの学習で生かしている
		総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる
	家庭等での学習	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含みます）
		学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます）
		土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます）
	ICTの活用	5年生（1，2年生）のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか
		学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか
		学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除きます）
		授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。
	読書	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます）
		読書は好きですか
心の育ち	学校の楽しさ	学校に行くのは楽しいと思いますか
		友達関係に満足している
	自尊感情	自分には、よいところがあると思う
		先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う
		人の役に立つ人間になりたいと思う
	生活習慣	朝食を毎日食べている
		毎日、同じくらいの時刻に寝ている
		毎日同じくらいの時刻に起きている
	シビックプライド	今住んでいる地域の行事に参加していますか
		地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか
		日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか

(1) 学習状況調査結果

～児童生徒質問紙より～



令和5年度 本市と全国との比較



「学びの育ち」について

<ICTの活用について>

- 「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」については、小6・中3ともに昨年度より増加しており、改善傾向にある。
- ◎ 引き続き、ICTの活用を推進していく必要がある。「GIGA 端末活用情報」の周知やICT活用について学校力向上支援訪問などを通して、具体的な活用方法を広げていく。

<家庭での学習について>

- 「授業時間以外に1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか」について、小6・中3ともに全国平均を下回っている。
- ◎ 今後は、補充学習の充実を目指して、本市研究委嘱校の実践事例を各学校に周知したり、学習習慣の形成に向けて、「まなQチャンネル」や「家庭学習チャレンジハンドブック」等を活用したりして、学校と家庭が連携した取組を進めるようにする。

「心の育ち」について

<自尊感情について>

- 「自分には、よいところがあると思いますか」について、肯定的な回答が増えている。
- ◎ 今後も、ポストコロナの新しい学校教育の在り方を創造し、各学校が行事等の実施方法等について、児童生徒が達成感・充実感を得られるよう工夫していく必要がある。

<学校の楽しさについて>

- 「友達関係に満足していますか」について、小6・中3ともに全国平均と同程度である。
- ◎ 引き続き「子どもつながりプログラム」などを活用し、人間関係づくりに取り組むとともに、子どもが安心して学校に登校できるように子どもの居場所づくりに努める。

<シビックプライドについて>

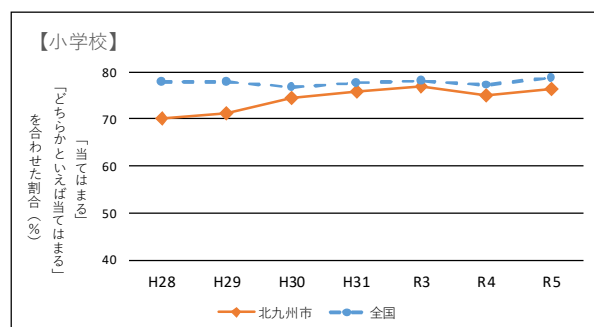
- 「日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか」について、小6では全国平均を超え、中3では全国と同程度であった。
- ◎ さまざまな教科の学習の中で、本市ならではの人・もの・ことや特性を学ぶ機会や活動を充実していく。

(2) 児童生徒質問紙の回答結果の経年推移

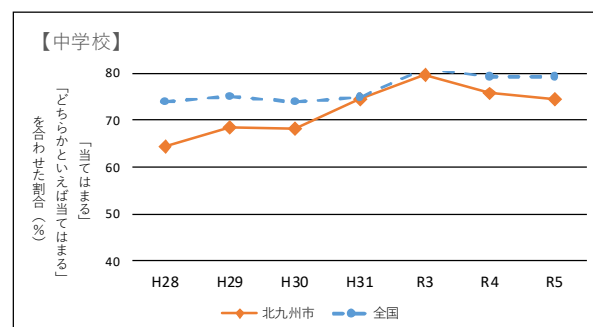
学びの育ち

【質問】授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

	H28	H29	H30	H31	R3	R4	R5
北九州市	70.1	71.2	74.6	75.9	76.9	75.0	76.4
全国	77.8	77.9	76.7	77.7	78.2	77.3	78.8

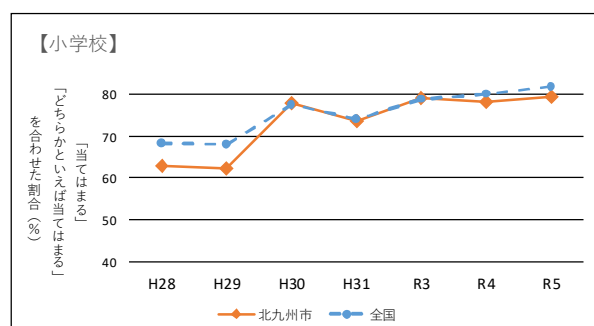


	H28	H29	H30	H31	R3	R4	R5
北九州市	64.2	68.4	68.0	74.3	79.6	75.7	74.4
全国	73.8	74.9	73.8	74.8	81.0	79.2	79.2

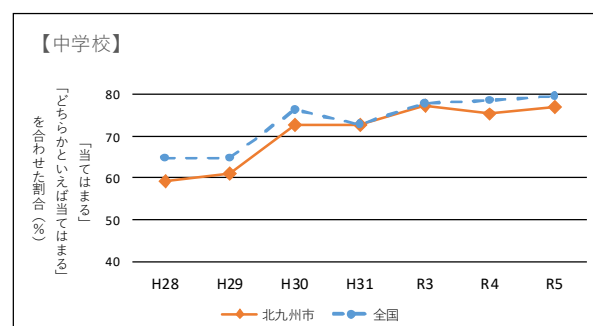


【質問】学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。

	H28	H29	H30	H31	R3	R4	R5
北九州市	62.7	62.3	77.8	73.6	79.1	78.4	79.4
全国	68.3	68.2	77.7	74.1	78.8	80.1	81.8

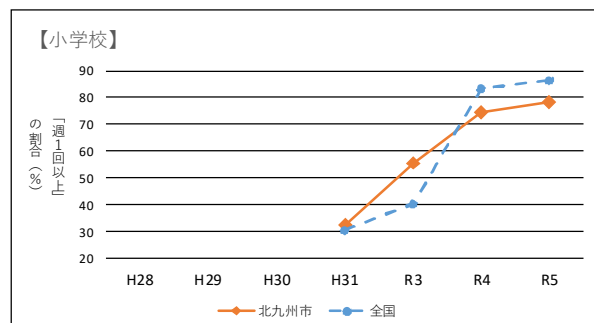


	H28	H29	H30	H31	R3	R4	R5
北九州市	59.2	61.0	72.9	72.9	77.3	75.4	77.1
全国	64.8	64.8	76.3	72.8	77.8	78.7	79.7

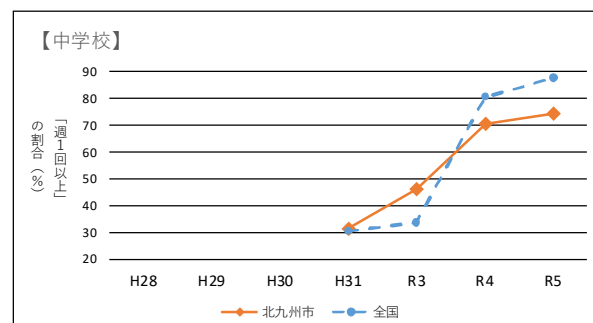


【質問】5年生までに「1,2年生のときに」受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。

	H28	H29	H30	H31	R3	R4	R5
北九州市				32.4	55.6	74.4	78.3
全国				30.6	40.1	83.2	86.3



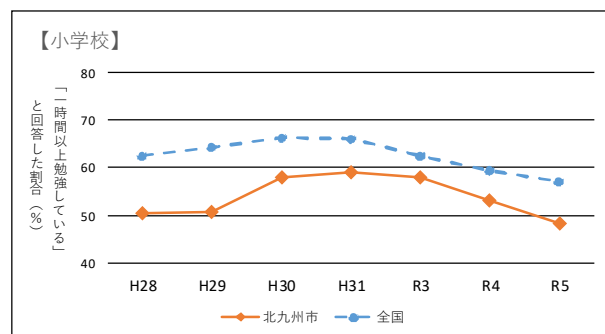
	H28	H29	H30	H31	R3	R4	R5
北九州市				31.2	46.0	70.1	74.3
全国				30.6	33.4	80.6	87.5



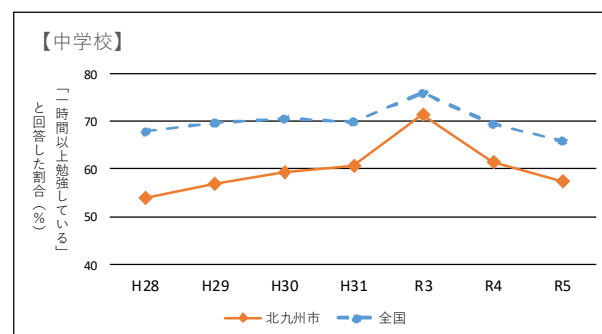
(2) 児童生徒質問紙の回答結果の経年推移

【質問】学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。
（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）について、「1時間以上勉強している」と回答した割合

	H28	H29	H30	H31	R3	R4	R5
北九州市	50.5	50.8	58.1	59.0	58.0	53.2	48.2
全国	62.5	64.4	66.2	66.1	62.5	59.4	57.1



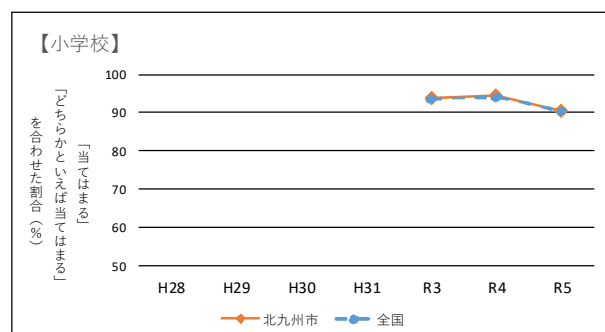
	H28	H29	H30	H31	R3	R4	R5
北九州市	54.0	56.8	59.3	60.4	71.4	61.4	57.3
全国	67.9	69.6	70.6	69.8	75.9	69.5	65.8



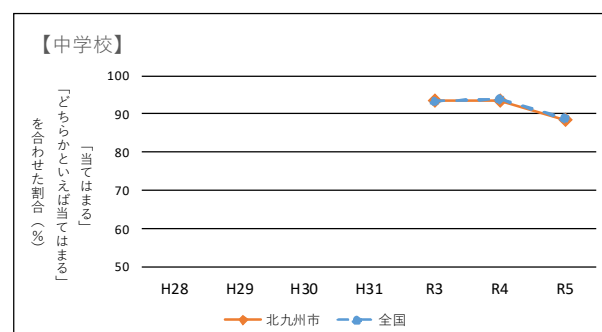
心の育ち

【質問】（R3～R4）友達と協力するのは楽しい。（R5～）友達関係に満足している。

	H28	H29	H30	H31	R3	R4	R5
北九州市					93.8	94.2	90.3
全国					93.4	94.0	90.3

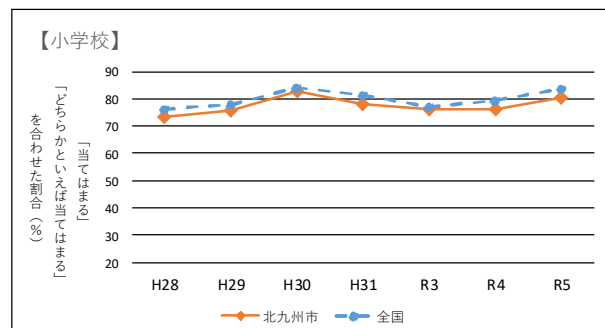


	H28	H29	H30	H31	R3	R4	R5
北九州市					93.4	93.3	88.5
全国					93.2	93.7	88.7

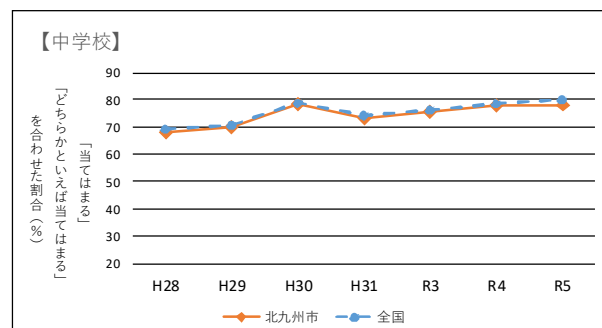


【質問】自分には、よいところがあると思う。

	H28	H29	H30	H31	R3	R4	R5
北九州市	73.5	75.9	82.7	78.0	76.1	76.3	80.3
全国	76.3	77.9	84.0	81.2	76.9	79.3	83.5



	H28	H29	H30	H31	R3	R4	R5
北九州市	68.1	69.9	78.4	72.9	75.3	77.8	78.1
全国	69.3	70.7	78.8	74.1	76.2	78.5	80.0



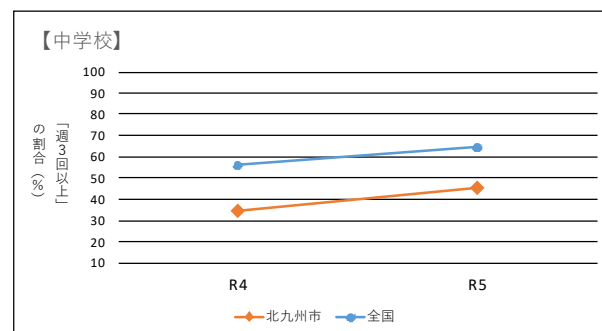
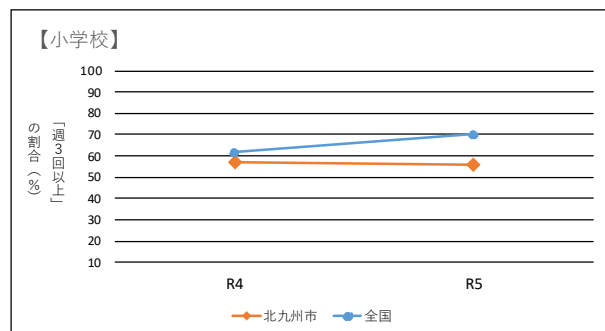
(3) 学校質問紙の回答結果の経年推移

ICTを活用した学習状況

【質問】 調査対象学年の児童生徒が自分で調べる場面（ウェブブラウザによるインターネット検索等）では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか。

	R4	R5
北九州市	57.1	55.9
全国	61.9	70.0

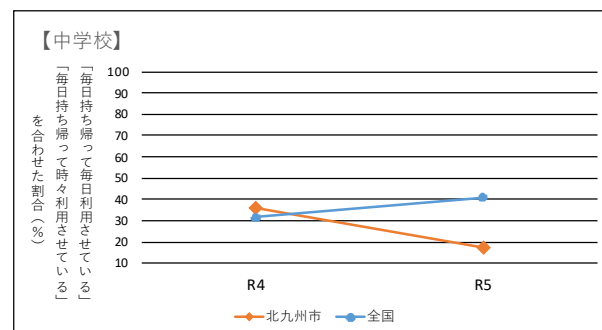
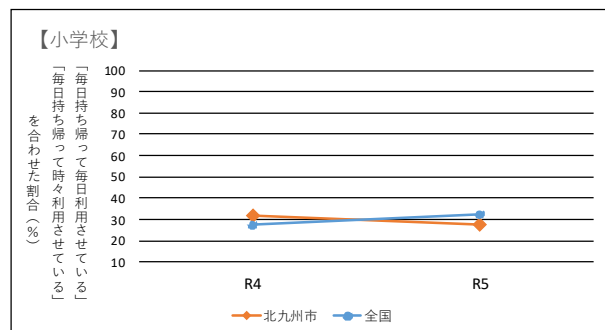
	R4	R5
北九州市	34.3	45.3
全国	56.2	64.6



【質問】 児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか。

	R4	R5
北九州市	32.1	27.5
全国	27.4	32.5

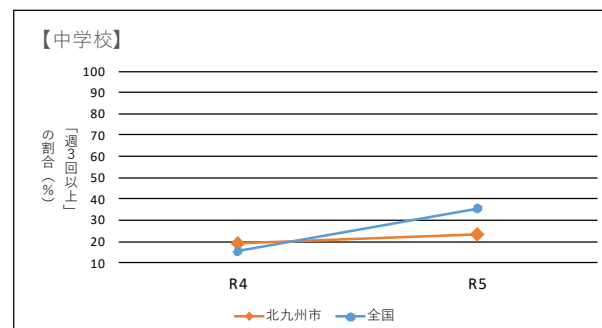
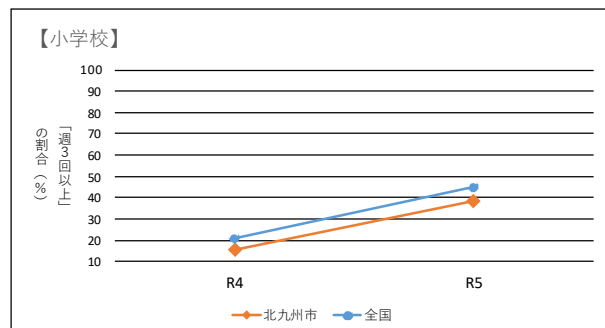
	R4	R5
北九州市	35.9	17.2
全国	31.6	40.9



【質問】 調査対象学年の児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか。

	R4	R5
北九州市	15.6	38.6
全国	21.1	45.0

	R4	R5
北九州市	18.7	23.5
全国	15.6	35.7

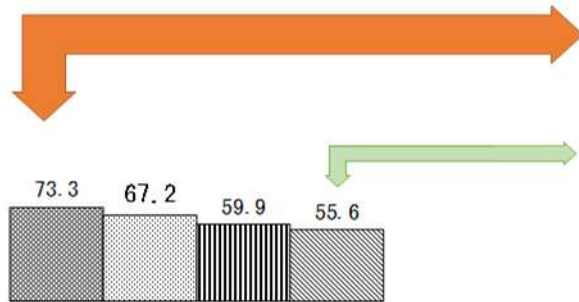


4 今後の取組



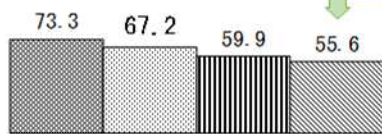
「児童生徒質問紙」と「各教科平均正答率」の関係 クロス集計

クロス集計の見方



例えば、
「授業で考えをまとめる活動をしていたか」の
質問に対して「当てはまる」と答えた
児童の国語の正答率は73.3%

例えば
「授業で考えをまとめる活動をしていたか」の
質問に対して「当てはまらない」と答えた
児童の国語の正答率は55.6%

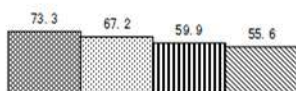


小学校国語

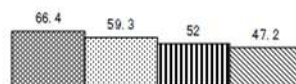
「自分の考えをまとめる活動をしていたか」と「平均正答率」

【児童生徒】 授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていますか。

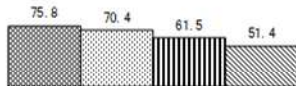
☒ 当てはまる
 ☒ どちらかといえば、当てはまる
☒ どちらかといえば、当てはまらない
 ☒ 当てはまらない



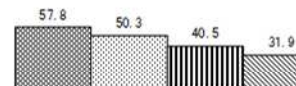
小学校国語



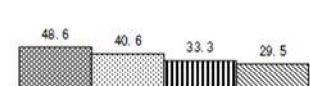
小学校算数



中学校国語



中学校数学

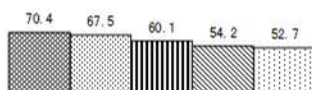


中学校英語

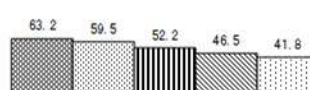
「自分の考えを深めたりすることができているか」と「平均正答率」

【児童生徒】 学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。

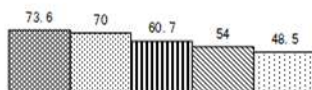
☒ 当てはまる
 ☒ どちらかといえば、当てはまる
☒ どちらかといえば、当てはまらない
 ☒ 当てはまらない
 ☒ 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない



小学校国語



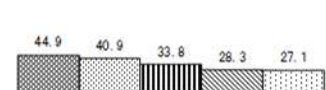
小学校算数



中学校国語



中学校数学



中学校英語

授業の中で、自分の考えをまとめる活動をしていたと答えた児童生徒の方が、各教科の平均正答率が高い傾向が見られる。

また、話し合う活動を通して、自分の考えを深めたりすることができていると答えた児童生徒の方が、各教科の平均正答率が高い傾向が見られる。

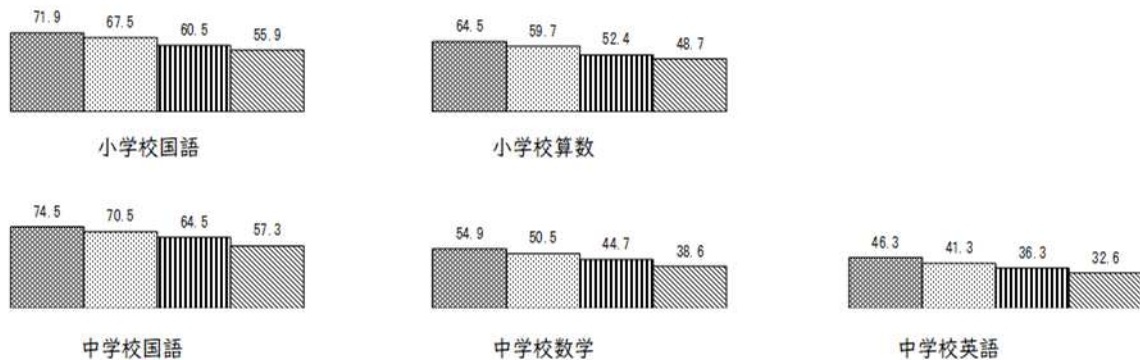
「主体的・対話的で深い学び」の視点から児童生徒に話し合い活動に取り組ませ、児童生徒が自分の考えを深めたり広げたりすることは、各教科の正答率にも影響を与えていることが考えられる。

「児童生徒質問紙」と「各教科平均正答率」の関係 クロス集計

〔調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいるか〕と〔平均正答率〕

【児童生徒】 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。

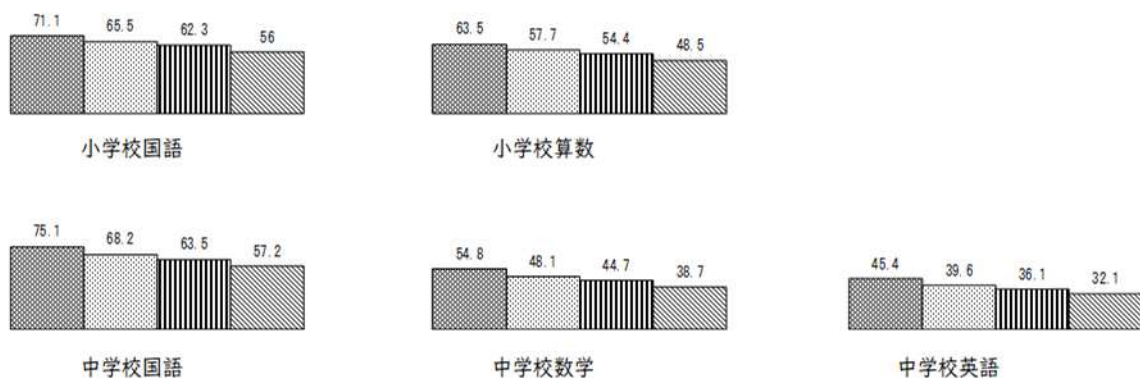
- ☒ 当てはまる ☒ どちらかといえば、当てはまる
☐ どちらかといえば、当てはまらない ☐ 当てはまらない



〔読書は好きか〕と〔平均正答率〕

【児童生徒】 読書は好きですか。

- ☒ 当てはまる ☒ どちらかといえば、当てはまる
☐ どちらかといえば、当てはまらない ☐ 当てはまらない



総合的な学習の時間において、自分で課題を立てて取り組んでいると答えた児童生徒の方が各教科の平均正答率が高い傾向にある。

また、読書と平均正答率の関係については、読書が好きと答えた児童生徒ほど、各教科の平均正答率が高い傾向にある。

「総合的な学習の時間」を通して児童生徒に問題解決に取り組ませることや、児童生徒の読書への関心を高めることは、各教科の正答率にも良い影響を与えていることが考えられる。

【柱1】

全校体制でのPDCAサイクルの確立

＜成果＞ スクールプランの作成・実施・検証・改善

- ・スクールプランを基に「学力・体力・心の育ち」の面から、学校等の取組の状況を把握しマネジメントへの助言や支援を行うことで、各校でPDCAサイクルを意識した取組が推進されるようになってきている。
- ・「北九州市学力・学習状況調査」「全国学力・学習状況調査」を実施し、継続的に児童生徒の学力の実態を把握し、授業改善に生かすサイクルが確立されてきている。

＜今後の方向性＞ 管理職・ミドルリーダーによる学校マネジメント

- ・本市人材育成基本方針に基づいた効果的なOJTの推進
- ・児童生徒・保護者等のアンケートの分析結果から、指導に生かす方法の確立

子ども一人一人への温かな関わり

ICT活用の推進

学力向上

【柱2】

指導力向上のための 日々の継続的な取組

＜成果＞

授業改善への意識の向上

- ・リーディング校における市内への公開授業や授業づくりに関する研修や学校訪問を通して、「『わかる授業』づくり5つのポイント」を意識した授業づくりが進んでいる。
- ・指導主事やメンタリング教員が各校の授業を参観し、教員の実態に応じた具体的な助言を行い、授業力向上を図っている。

学校図書館教育の充実

- ・不読率が改善した。
- ・学校図書館と公共図書館の連携が進んだ。
- ・学校図書館の環境整備が進んだ。

＜今後の方向性＞

教員の指導力向上に向けた具体的な支援

- ・「『学びの質を高める授業』づくり5つのポイント」を基にした授業の質の向上
- ・ICTを活用した補充学習や授業づくりの推進と教員の指導力向上

【柱3】

小中9年間を見通した、 児童生徒一人一人への きめ細かな教育体制の確立

＜成果＞

GIGA端末を活用した補充学習の質の向上

- ・各学校が、導入しているドリルアプリを活用して、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図っている。
- ・文部科学省CBTシステム（MEXCBT）を活用し思考力、判断力、表現力等の育成が図られている。

学びチャレンジリーディングスクールにおける補充学習の研究推進

- ・委員会が指定した小学校2校、中学校3校の補充学習推進校において、実践発表会を行い、その実践の成果を市内に広げた。

＜今後の方向性＞

- ・各教科の基礎的・基本的な内容のさらなる定着を図るために、授業改善や補充学習の取組を進める。
- ・来年度以降の、全国学力・学習状況調査のCBT化に向けて、GIGA端末を活用した学習を推進する。
- ・過去の調査結果も含めて、誤答の傾向や各学校のつまづき等について、分析を進める。



令和5年度 全国学力・学習状況調査 報告書

発行

北九州市教育委員会

次世代教育推進部 授業づくり支援企画課
〒803-8510

北九州市小倉北区大手町1番1号
(小倉北区役所内)

TEL 093-582-3447

FAX 093-581-5873